



藤枝ロータリークラブ会報

通常例会／小杉苑

会長:土屋 富士子
副会長:村松 繁

幹事: 太田 暢裕
副幹事:武田 浩英・八木 晋介

UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

● 会長報告

土屋 富士子君

皆さん、
こんにちは。
朝晩が少し涼しくなり、秋の気配が少し感じられる季節となりました。



先日の柿田川奉仕作業では、米山奨学生、カウンセラーたちが、参加し、元気に活動してくれました。当日柿田川は台風の影響で水かさが増し、川には入れませんでした。施設の雑草とりに変更になりました。

「9 月 7 日に開催された地区 DEI 推進セミナーに参加し、第 2660 地区パストガバナー・宮里唯子氏の講演を拝聴しました。

宮里氏は、DEI の本質は“公平と平等の違いを理解すること”にあると強調され、年齢や社会的制約が日本における多様性の課題であると語られました。

また、女性会員の増加についても、数合わせではなく“クラブにふさわしい人材を迎える”という姿勢が重要であるとのこと。

この講演を通じて、私たちのクラブもより開かれた、柔軟な姿勢で地域社会に貢献していく必要があると感じました。」

- 今日の記念日です。
- 下水道の日：台風シーズンに合わせて、雨水排除の重要性を広めるために制定された日です。
- カラーテレビ放送記念日：1960 年に日本で初めてカラーテレビの放送が始まった日です。
- 世界自殺予防デー：自殺予防への関心を高めるため、WHO と国際自殺予防協会が制定した国際的な記念日

- 牛たんの日：語呂合わせで「ぎゅう (9) たん (10)」から来てきています。仙台の名物をもっと広めようっていう思いが込められてるようです。
- 弓道の日：こちらも語呂合わせで「きゅう (9) どう (10)」！弓道の魅力を伝えるために制定されました。

他にも「屋外広告の日」や「愛する小倉トーストの日」なんてユニークな記念日もあります。今月は卓話を中心となりますが、会員の皆さんの経験や知識を共有することで、クラブの絆がさらに深まることを期待しています。季節の変わり目、どうぞご自愛ください。会長報告を終わります。

● 理事会報告

武田 浩英君

- 10. 11 月例会プログラム承認されました。
- 11/11 ガバナー冠講座のガバナーへの案内書、企画書、例会案内書が承認されました。お弁当、お茶は@1300、手土産@3000、駐車場案内については再確認となります。
- 9/24 外部卓話について、卓話者のプロフィールを準備して LINE にて確認となり継続審議となりました。
- 10/4IM について、交通手段は各自で向かっていただく事で承認されました。
- 10/8 地区委員卓話（奉仕活動）について、地区へ依頼書を提出済となり承認されました。
- 10/12 エンドポリオ活動について、承認されました。
- インビテーションカードについて、作成することで承認されました。
- 10/22 会員卓話について、継続審議となりました。
- 11/22 音楽フェスについて、継続審議となりました。
- 10/18IA 指導者講習会について、IA 担当山田さん参加、他参加者確認の上、曽根先生へ交通手段等の調整をしていただきお申込みとなりました。
- 事務局退職について

継続審議となりました。

- ・第 49 回藤枝ローター争奪少年剣道大会について、副会長・幹事・奉仕活動委員長が参加となりました。
- ・島田 RC3000 回記念例会のご招待について、会長幹事が参加となりました。
- ・緑の募金運動への協力について、例会で回覧募金となりました。
- ・会員退会について、退会希望者の紹介者より、再度ご連絡となり継続審議となりました。

● 幹事報告

武田 浩英君

- ・英字版 the Rotarian が届きました。
- ・ガバナー事務所より
令和 7 年台風第 15 号災害静岡県義援金ご協力のご依頼が届きました。
- ・藤枝市緑をすすめる会より
緑の募金運動への協力についてお願いが届きました。

● 出席報告

仲田 廣志君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
30/42 71.42%	28/42 66.66%

(1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○石上君 内田君 ○太田君 ○落合君 金森君
河森君 ○玉木君 ○戸田君 ○松田君
○村松英君 ○望月君 ○山脇君
※○印は欠席連絡あり

● スマイルBOX

仲田 廣志君

・澤部小百合君

先週誕生日のお祝いを頂きました。1 年があつという間で、毎年おどろいております。ありがとうございました。

・村松繁君

お誕生日のお祝いありがとうございます。63 才になりました。60 をすぎると 1 年があつという間です。これからもよろしくお願いします。

スマイル累計額 28,140 円

● 新会員卓話

寺田卓正君



皆さま、こんにちは。

本日はこのような場をいただき、ありがとうございます。

冒頭から恐縮ですが、最近よく言われるのが「奥さまを知っていますよ」という言葉です。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、実は昨年より妻が市議会議員を務めておりまして、どうも私よりも知名度が高いようです。今日は「知られていないほう」の私のお話を、少しでも聞いていただければ幸いです(笑)

申し遅れました。私は株式会社ニューウェーブの寺田 卓正(タカマサ)と申します。昭和 50 年に藤枝で生まれ育ちました。共働きの両親のもと、祖父母と同居しながら育ったこともあり、人との関わりや支え合いを自然と学んだように思います。

大学在学中に祖父を亡くしたことをきっかけに、「人が生きる意味」や「健康に生きるとは何か」を深く考えるようになり、医療の道を志しました。国家資格である鍼灸師、あん摩指圧マッサージ師を取得し、療養型病院のリハビリテーション科にも勤務しました。そこでは、脳梗塞の後遺症を持つ方や寝たきりの重度患者さんを対象に、理学療法士や作業療法士と共にリハビリに従事してきました。その経験から、「治療だけでは守りきれない生活がある」という現実を痛感しました。

20 代の後半で独立開業し、治療院を立ち上げてからも、往診でご自宅に伺い、在宅で療養される方々を多く診てきました。その過程で必要性を感じ、介護ヘルパーやケアマネージャーなどの資格も取得しました。医療と介護の両方の現場を知ることが、今の活動の基盤になっています。

さて、私が「治療から予防へ」と考えるようになった理由は、大きく二つあります。

一つ目は、現場で多くの方が「倒れる前に気づけば良かった」と口にされることです。脳梗塞や脳内出血で突然倒れ、命は助かっても、

元の生活に戻れない。利き手が思うように動かない、言葉が出にくい、車いすの生活になってしまう。そうした後遺症に苦しむ方を、数え切れないほど見てきました。

健康を失うということは、単に体の機能を失うだけではありません。仕事を続けること、趣味を楽しむこと、家族と自然に語り合うこと…その人らしい「日常」そのものを奪ってしまうのです。

二つ目は、一度そうした後遺症を負ってしまったと、どんなに懸命にリハビリに取り組んでも、完全に回復することが難しい方が多いという事実です。

努力を重ねても、以前のように働けない、趣味を楽しめない、家族と自然に会話できない。そんな現実直面して苦しむ方を、私は何度も見てきました。

病気が進んでからでは「取り戻せないもの」が多すぎるのです。

だからこそ私は、「病気になってから」ではなく「病気になる前に」体を整えることが大切だと考えています。ストレッチやコンディショニングを通じて、体の疲れを取り、調子を整える。そうすることで、誰もが自分らしい生活をより長く続けられる。その可能性を信じて、活動を続けています。

健康というと「筋トレ」や「根性」といったイメージが強いかもしれませんが、私が大事にしているのは、むしろその逆で「頑張りすぎない」ことです。

体に無理をさせて疲労をため込むのではなく、日常生活の中で小さな習慣を整えていく。休むときは休む、ゆっくりと体を伸ばす、食生活をほんの少し見直す。そんな些細な積み重ねが、将来の大きな安心につながっていくのです。

こうした活動の中で、企業の方々とも関わるが増えました。

例えば、ある保険代理店の社長から「うちの社員はみんな主婦層で、日中はデスクワーク、家に帰れば家事や子育てで頭痛や肩こりが絶えない」と相談を受けたことがあります。お話を伺いながら、これは単なる体の不調の話ではなく、会社全体の活力や雰囲気にも影響することだと強く感じました。

社員一人ひとりが健康であることは、会社の元気に直結する。健康を守ることは、個人にとっ

ただでなく、組織や、地域にとっても大切な

土台になるのだと改めて実感しました。
そしてこれは、私たち一人ひとりにも同じことが言えると思います。

私たち自身が健康であることがご家族にとっての安心につながり、地域にとっての活力にもなる。健康は「自分だけの問題」ではなく、周りを幸せにする力を持っているのだと、私は確信しています。

ここまで、自己紹介を兼ねた私自身のお話をさせて頂きましたが、このようなお話が、皆さまにとって「明日からできる予防の一步」を考えるきっかけになれば幸いです。

結びとなりますが、『市民生活の健全化は妻の「寺田あきこ」に、体の健康は夫に』。もし今日ここで私の名前を忘れてしまっても、「ああ、あの“議員さんの旦那さんでストレッチの人”」と呼んでいただければ十分です。

ご清聴、ありがとうございました。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。



山口剛史君



土木建設事業



- ・民間
 - 土地造成工事
 - 外構工事
- ・公共
 - 道路改良工事
 - 河川工事
 - 本管水施設工事

トレーラーハウス製造・販売



- 特徴
1. 農地以外ならどこにでも設置可能！
 2. 車両扱いなので10㎡以上でも建築確認不要
 3. 車両としての減価償却期間でOK
 4. 固定資産税もかかりません
 5. 中古市場も広がっています
 6. 事務所や店舗など用途が豊富！！

ドローン事業

- ・スクール事業を展開
いわゆる【民間資格】と【国家資格】の両方が取得可能 ※助成金活用もできます！
- ・ドローン販売 DJI製品の販売店
- ・学校行事や地域の名所、イベント撮影業務
- ・毎月1回、ドローン体験会を開催
- ・建設現場の定点定期撮影や測量(土量・面積など)
- ・建物の壁面や屋根、高い場所や狭い場所の点検
- ・農業散布や農業ハウスの通熱、遮光材散布
- ・今後は流通や運搬、人の移動など新しい分野からも注目を集めています



学生寮運営

- ・2023年の4月に開寮
- ・県立高校サッカー部
- ・2022選手権～2024選手権まで選手権3回、インターハイ2回の5年連続全国制覇の超名門！
- ・今年も前人未踏の選手権4連覇にむけて頑張っています

◎ これまでの販売とは大きく内容が違って当初は戸惑いもありましたが先生たちの課題や目標に向かって取り組む姿を見ていると、自分自身も見習う部分が多くて、すごく刺激をもらっています。今はこの事業にチャレンジして良かったと思っています。



おわりに

たまたま家業として建設業に携わるようになったのが25歳の時で特に将来を深く考えていたわけでもなかった

たまたま家業が制度として生まれ出ることと告げたら建設業かと思う浮かばず結果

たまたま以前から入っていた商工会議所青年部の仲間や先輩に助けられ事業も何とか軌道に乗る

たまたま麻生YEGが大きな大会を開催することになりチャレンジしがいのある役を頂いた。それがきっかけとなり全国の青年経営者との交流ができた。

トレーラーハウスやドローン事業は全国の仲間と始めた事業で卒業した今も仕事を続けて関わっている

学生寮の運営も地元が大好きな経営者仲間から話を聞き先輩経営者の皆さんにも背中を押されスタート

何も考えていなかった自分がたまたまご縁の力で今、生かされている。

今回、卓話という機会を頂いたことで改めて自分の成り立ちと現在の立ち位置を顧みることができました。

『ロータリーの友 9月号紹介』

9月は、基本的教育と識字率向上月間、ロータリーの友月間です。

横組みの3ページにフランチェスコ・アレッツォR I 会長メッセージが掲載されています。

教育を通じた平和について述べられていますので紹介させていただきます。

8行目に、世界には文字を読めない人が何百万人もいます。基本的教育を受けられない子どももいます。しかし、私たちはその解決法を知っています。持続可能で、インクルーシブで、公平な教育です。特に女兒と社会から取り残された若者の為の教育は重要です。識字とは単に読み書きができる能力ではありません。人間の尊厳、経済的な自立、平和への鍵となるものです。

本を開くこと、教室を設けること、教師を養成すること、そのすべてが平和の礎となるのです。そして、後ろから13行目に、識字という課題において、単に「教育の機会を提供する」だけでなく、「教育の公平性」を追求する必要があります。どのような背景の人でも、学びのチャンスが等しく与えられるべきです。そして、国境、言語、世代を超えて、教育は特権ではなく権利であるということを私たちは一つになって主張することも必要です。

持続的な識字率向上の実現に向けて行動し、よいことのために手を取り合いましょう。全ての子どもが文字を読めることを夢見て、私たち世界を変える行動人が、この夢を実現するために協力しましょう。と書かれています。ロータリアンとして、自分に何ができるだろうと考える機会となりました。

5ページからフランチェスコ・アレッツォR I 会長の紹介の記事が掲載されていますので紹介させていただきます。7ページにR I 会長に任命される経緯が書かれています。6月に開催されたカルガリー国際大会の一週間前に、R I 理事会から、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏が個人的な理由と仕事の都合により突然辞任したことを受け、特別会合でアレッツォ氏のR I 会長の任命を決定した。と連絡があったそうです。その2日後に、国際大会で16,000人のロータリアンの前でR I 会長氏名の受諾を受けるためにカルガリーへ向かったと書かれています。

アレツオ氏は、この瞬間を迎える準備は出来ていたと語っています。ロータリーに30年以上在籍し、RI理事や2023年のメルボルン国際大会委員長を含む数多くの場面でリーダーシップを発揮してきたアレツオ氏は2023年にRI会長に立候補し、最終候補に選ばれたそうです。

6ページからはアレツオ会長に詳しく話を聞いた記事が紹介されています。

2人の娘さんと2人のお孫さんがいらっしゃり、職業は矯正歯科医(きょうせいしかい)であり、家族は1世紀以上前からオリーブオイルを生産しているそうです。

シチリア島のラグーザ・ロータリークラブの会員です。

10ページには、ラグーザ・ロータリークラブの会長、ガバナーに就任した記事があります。会長、ガバナーを受ける際には消極的だったそうです。吃音(きつおん)の問題を抱えていたからだそうです。しかし、経験してみてもロータリーは私を変えてくれました。恥ずかしい思いをするかもしれないという理由で、人前で話すことを恐れていた私が、今や母国語でない言葉で、数千人の聴衆の前でステージに立って話すことができるようになったのです。これは全て、私が出会ったロータリアンたちのおかげです。と書かれています。

RI会長になるための要件について調べてみました。

クラブ会長、地区ガバナー、ロータリー理事すべてを経験した人が対象となります。

RI理事になるためには、ガバナー任期満了後、3年以上経過していること、また過去3年間にロータリー研究会に2回以上、国際大会に1回以上参加したことも必須条件だそうです。

続きまして、縦組みの2ページから生成AIの全貌という記事があります。

AIの飛躍的な進展と、それが私たちの社会や仕事に及ぼす影響について書かれています。

文章や画像、音楽、さらには動画まで自動で生み出す技術が現実となり、知的労働の在り方が大きく変わろうとしています。どのように共存していくのか、そのヒントが書かれています。

5ページのこれたかのトレンドAIエージェントの台頭の記事に2025年以降は、いわゆるAIエージェントといったものが急速に発展してくると予測されています。例えば、レストラン

の予約をAIエージェントに頼んだら、ユーザーの好みに合わせて参加人数を調整して、予約してくれる。メールの自動返信やパソコンの操作も同様です。AIエージェントがパソコンを操作して、プログラムを完結したり、ウェブアプリも作成してしまうといったことがすでに始まっているようです。

人の普遍的な価値が求められていく近未来の記事では、今後、もっと制度の高いAIができた場合、研究者に価値があるのか、ソフトウェアエンジニアは必要なのか等の疑問が、弁護士や医師などの分野にも及んでいくそうです。知的労働全般の価値の低下ということが起こりえるそうです。

6ページの知覚を超えるAIと人はどう向き合うのかの記事では、今年以降何が起きていくかが書かれています。25~27年には特定のタスクだけではなく、人間同様に幅広いタスクが出来るAIがでてくる可能性があるそうです。分野によって、能力はほぼ人と同じ、決定権を持っている人がいる以外、あとはAIでという時代がもうすぐやってくるそうです。さらに数年後には、人を超えた超人知能がでてくる可能性があるそうです。人を超えているので、人は知覚できないそうです。

人からしたら何でこんなことやってるんだ、まだまだばかだなと思っていたら、いつの間にかAIに追い詰められてもう後戻りできない。そして、人がそれを知覚できないという時代が迫っているそうです。

一部の企業では、AIの性能アップと同時に、いかにAIをコントロールするか、手綱を引けるか、AIがやっている謎の行動を人が理解し、識別させていけるかといったことも進めているようです。

非常に急速な社会の変化にしっかり対応していかなければならない時代がきています。

この記事を読んで、怖さを感じたのは私だけでしょうか。



ソングリーダー…… 西野浩史君
ソング…… 我等の生業



《9・10月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
22	23	24	25	26
閉局	閉局	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00
9/29	9/30	10/1	2	3
閉局	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
6	7	8	9	10
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
13	14	15	16	17
閉局	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
20	21	22	23	24
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
27	28	29	30	31
閉局	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。

事務局

〒426-0037

藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21

TEL054-647-2300 FAX054-647-2040

E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

(担当／杉浦 俊明君)